第52号
全世帯配布
昭和39年7月20日

広報よしわら

発行所
吉原市役所
吉原市今泉43の1
電（代）②3111番
編集 文書課
印刷
富士ニュース社

吉原市図書館 受入 39.7.30

市勢		人口	
東経	138度41分	国勢調査（35.10.1現）	住民登録 39.6月30日現
北緯	35度09分		
東西	14.71キロ	総数 80.944人	86.911人
南北	25.51キロ	男 40.547人	43.858人
面積	174.56平方キロ	女 40.397人	43.053人
		16.239世帯	18.854世帯

台風シーズン

凄まじい台風のエネルギー
中心の風速に注意

天気図・気象通報で心の準備

ことしも台風シーズンがやってきました。人命をうばい、家をこわし、収穫を台無しにするいまわしい台風。さいわい昨年は本土に影響ありませんでした。だからといつて安心は禁物です。「台風は〝天災〟だからしかたがない…」とかたずけるわけにもいきません。どうしたら被害を最少限にとどめるか、その対策をたてておくことが一番必要です。ここでは台風の生い立ち、性質や予備知識についてみることにしましょう。

南洋では一年中熱帯低気圧が発生しています。このうち最大風速が十七メートル以上のものを台風と呼びます。

発達した台風のエネルギーは水爆数百個分に相当するといわれます。気象台では台風の卵が南洋で発生すると台風情報を発表し、その後も必要に応じて予想進路や本土への影響などを発表します。ラジオ放送される台風情報で「台風の中心から半径〇〇キロメートル以内では三〇メートル以上の暴風雨となつていて…」といつた表現がされます。

台風の強さは、その径路や成長の過程、進行速度などによつて大ざつぱに分けることができます。このうち超大型台風といわれるものは、中心気圧が九〇〇ミリバール以下で、最大風速は六五メートル以上のものをいいます。大型台風は中心気圧が九二〇～九五〇ミリバールで最大風速六五～五〇メートルのもので、中型台風は中心気圧が九五〇～九八〇ミリバールで、最大風速は五〇～三五メートルです。小型台風は九八〇ミリバール以上で最大風速は三五～一七メートルとなります。

台風の中心附近では、強いしゆう雨性の強雨をともない、短時間に一〇〇ミリ以上の雨量となり、地形の影響などが加わると三〇〇ミリ以上となり、なかには六〇〇ミリをこえるところもでてきて洪水警戒となります。

県に影響ある主な台風

台風の災害を防ぐには、なんといつても台風が静岡県に来襲したときの状況をあらかじめ知つておかなければなりません。たとえば①本州南岸沿いに北進しながら接近または上陸する台風は、県の南部を北東に進むので、全般に北東の風が強くなりますが、風は北側の山岳にさえぎられるので中心附近や沿岸部を除いては割り合いに弱くなります。しかし県下全般に大雨が降り、平野部で一五〇～二〇〇ミリ、山間部で二〇〇～三〇〇ミリ、ときには四〇〇ミリをこえることがあります。高潮はほとんどないとみてよいでしょう。②南方洋上から北上して接近または上陸する台風は、狩野川台風のように県東部を北上すると県下は風の弱い半円にあたるので、県の西部では台風の中心にくらべ風雨も弱くなりますが、中心附近の東部では暴風雨となり大被害を受けます。雨も二〇〇ミリをこえる豪雨となります。③小笠原諸島から伊豆諸島を北上して接近または上陸する台風は県下で二〇メートルぐらいの暴風となり、伊豆地方や東部では四〇メートルをこえて大被害を受けることがあります。雨も二〇〇ミリをこえる豪雨となります。

狩野川台風の記憶にも新たなように大水害となります。さらに南風による高潮が考えられ、満潮時に重なると被害はさらに大きくなり、塩風害の被害も現われやすくなります。

（写真説明）
6月27日の集中豪雨で決壊された土手の復旧作業にあたる人々
…須津増川町南で…

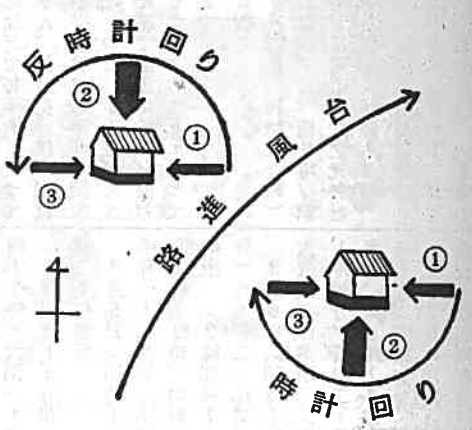
〝広報よしわら〟調査のお願い

広報よしわらは、この八月一日で発刊三年目をむかえます　編集部ではこれに因み八月中に「広報紙は読まれているか―」のアンケートを実施いたします。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

市長公室広報係

台風が北東に進む場合の例



台風の進路と風向……

台風進路の右側と左側の地域では風向の変り方が違います。風は台風の中心に向つて左巻き（時計の針と逆まわり）に吹きこみます左側の家では①最初東寄りの風から②次第に北風に変り③最後に西寄りの風となります（反時計まわり）。右側では①最初東寄りの風から②次第に南風に変り③最後に西寄りの風となります。台風の進路附近では台風の通過と共に風向は反対となります。（図）

災害に備え
計画はガツチリ

ここで吉原市の災害予防計画をみてみましよう。「吉原市災害記録」や「静岡県防災対策土地条件調査概報」などを基礎資料としてつくられているのが市の防災計画です。これによると防災施設や設備などの新設改良があげられ、とくに災害時における災害予警報、情報の伝達や緊急指令を正確にするため、無線施設をさらに拡充整備し、有機的な通信網の整備強化がとられています。そのほかつぎのことに気をつけましよう。

1 降り続いていた雨がやんだり、雲が切れるような一時的な天気変化にまどわされないように注意することです。

2 災害が起ると停電するものです。トランジスターラジオなどを備え　つねに気象情報に気をつけましよう

3 災害が発生したときは、いま自分はなにをすべきか適切に判断をくだし、情報連絡を忘らないことです

4 前線による豪雨に警戒するとともに局地的な強風に注意しましよう

災害がおこると電気はとまり交通は絶え、食べものは流され、想像もつかない混乱状態となつてきます。幾多の人命をうばつた過去の貴重な教訓を生かして、防災の実をあげたいものです。

台風知識

大きさ……気圧の単位はミリバールで、この数字が大きいほど風力は大きいのです　伊勢湾台風は九三〇ミリバール狩野川台風は上陸時で九五〇ミリバールでした。

風……台風の風は一般に中心気圧が低いほど強く、進行方向の右側（危険半円）は左側（可航半円）より強く、暴風半径も大きいのが普通です。中心附近では風も弱く、青空の見えることもありこれを台風の眼と呼びます。

雨……雨はとくに地形の影響を大きく受けますが、一般に中心附近の前面に強雨域があり、台風の前方に前線がある場合には、この前線附近で大雨になることがあります。台風の周辺附近では断続的な雨が降ります。

天気予報は一七七番

八月一日から実施

吉原電報電話局では、八月一日から「天気予報電話」をはじめます。ダイヤル番号は一七七番（局番なしの三数字）で、料金は市内通話と同じ一回七円です。

タイトルは〝静岡県東部地方の天気予報〟となりますが、吉原地方の気象情報も、充分に取り入れ、つねに新鮮なものにします。

日本は台風の国であるともいわれ、毎年のように台風というありがたくないお客様がやつてきます。しかし〝備えあれば憂いなし〟ということわざがあります台風対策や旅行、ピクニツクなどのご計画にせいぜいご利用ください。

大昭和チーム壮行の夕べ
市中パレード
開催のお知らせ

第三十五回全国都市対抗野球大会の山静代表として、わが大昭和チームが市民の期待と与望をになない、勇躍後楽園へ出場することになりました。

つきましては、つぎにより壮行の夕べ、市中パレードを行ないますので多数ご参加のうえ、ご声援くださるようお願いいたします。

昭和三十九年七月二十日
吉原市長　斉藤滋与史

1 壮行の夕べ
日時　七月二十二日　午後六時（開場五時三十分）
会場　市民会館大ホール

2 壮行市中パレード（雨天は中止）
日時　七月二十三日　午前九時
場所　静岡銀行吉原支店前から日産自動車吉原工場前まで